

『東亜』2020年1月号目次 「特集：内政化する米国の対中政策」

■COMPASS

* 平成30年間の日本を中国はどうみているか 厳善平

* 日韓GSOMIAの破棄、土壇場で回避 大木聖馬

* 「智能化戦争」に備える人民解放軍 飯田将史

* 破綻した文在寅政権による南北対話 宮本悟

■特集 内政化する米国の対中政策

* 米中貿易戦争とアジアの生産再編－ベトナムへの生産移管が加速－ 池部亮

* トランプ政権下で展開される対中人権外交－国際的宗教自由の追求 佐藤真千子

■ON THE RECORD

* アメリカの対中アプローチにおける国内政治誘因 待鳥聡史

■ASIA STREAM

* [中国の動向] (2019年11月－2019年12月)

米中通商交渉で第1段階の合意達成 濱本良一

* [台湾の動向] (2019年11月－2019年12月)

立法委員選挙で追いつける民進党 門間理良

* [朝鮮半島の動向] (2019年11月－2019年12月)

「折り返し点」を過ぎた文在寅大統領の内憂外患 小針進

■マカオは今 [55]

* ライトレールがようやく開通、カジノは日本へ 塩出浩和

■Briefing Room

* スリランカ大統領選で親中派が当選－「一帯一路」、中国の影響力拡大へ 伊藤努

■チャイナ・ラビリンス [188]

* 転換期を迎える中共中央 高橋博

■連載 国際秩序をめぐる米中の対立と協調 [4]

* 米国の対中政策における競争と交渉 (前編) 森聡

■Book Review on Asia

■New Publications on Asia